



▲絆がなければ地域は救えない



▲高浜市消防団10代目団長・都築伝七さん（高浜消防署にて）



▲消防団は団結力も魅力のひとつ



▲昔の消火活動は消防団が大きく貢献していた

“撮っておき” の たかはま

【第20回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

地域防災の要 「消防団」

「分団長をやめて1か月ぐらいは仕事が手につかんほどの喪失感に襲われたよ。」と当時を振り返り語るのは高浜市消防団10代目団長の都築伝七さん（八幡町）。団長を昭和54年度から3年間務めたが、その間、突然おきる火事や災害に備えいつも気持ちを切らさずにいたという。

高浜市消防団の歴史は長く、明治28年に高浜村消防団「い組」46人、腕用ポンプ2台にて活動が始まり、昭和22年4月に高浜消防団として1団4分団248人で組織された。高浜消防署が昭和47年4月1日に設立されるまでは、消防団が主となって消火活動や災害復旧活動などを行っていたので「自分たちがやらなきゃまちは救えないという思いが強く、消防団の役割や使命感は大きかった。」と都築さんは言う。

また、「特に記憶に残ってるのは、昭和34年9月26日の伊勢湾台風での活動。消防団員は毎日出動し、田戸町の道路に倒れた木をのこぎりで切るなど復興活動を行った。団員の中にも被災した者がおったが、活動をやめる者はおらんかった。“地域のために”という思いが強かったでな。」という。

現在、消防団員は122人で“自分たちのまちは自分たちで守る”という歴代の先輩たちの思いを受け継ぎ訓練を重ね、これからも地域防災の要として防災活動の先頭に立ち活動を行っていく。皆さんも消防団の活動を後押しし、できれば仲間になっていただきたい。

LELA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください！



編集・発行／高浜市役所総合政策グループ
〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。

